

未来へつなげよう おいしい食卓！

大和郡山市田中町 913-3 TEL:0743-58-5225
 10月供給高 4824.8万円 (前年比 102.7%)
 組合員数 2875人 (前年比 93.4%)

生活クラブ奈良

検索してみる

試食会はもちろん、生産者と交流したい！

「組合員活動へのアンケート」に協力ありがとうございました

2016年度から「3つのエリア」での活動提案をしてみました。そして今年度は活動への意見、要望を伺いたく、アンケート調査を行いました。

その結果、283名の組合員の皆様から回答をいただきました。3つのエリア「奈良・生駒・中南部」でそれぞれに違いはあるのですが、今後のエリア活動に繋がっていきます。

回答のうち、参加しやすい日については、回答がかなり分散しましたが、企画

の際の参考にさせていただきます。

「ご意見抜粋」

* 年末・年始試食会では、クリスマス・迎春の消費材を選ぶ参考になるし、消費材の良さを知ることができた。

(中南部)

* 青空試食会など、生産者と出会える企画は作り手の熱い思いを伺え、組合員以上にこだわりがあることや市販品との違いが紙面で読む以上に良く分かる。

(中南部)

* 会場への行きやすさ(車がないので駅から近いところ)子連れでいいか出席率は変わると思っています

(生駒)

* ジュースやケチャップなどのビンに貼ってあるラベルを剥がすのは、子育てに忙しい、介護している人にはこんな手間が時として負担になります。張らないでタグでもつけてくれたら十分だと思います。生活クラブの主旨は理解しますが、利用しやすくすることも大切です。

(奈良)

* 生産者交流会や春の青空大試食会には興味はあるが、スケジュールが合わず、参加できない。美味しい消費材を作ってください。お話を聞かせてください。

(奈良)

「自ら考え、自ら行動する」主体者となって活動に参加しましょう

たくさんの方の貴重なご意見を伺いました。できるだけ組合員に寄り添いながら組織運営をしていくことが、生活クラブの活動の在り方だと考えています。組合員の皆様もご協力ください！

(理事会)

アンケート結果

配布：2017年8月21日～
 配布数：2,447 回収数：283 回収率：11.6%
 回答者年代別：20歳代3名、30歳代47名、40歳代98名、50歳代38名、60歳代61名、70歳以上30名、無記入6名

《問1》今までに企画に参加したことはありますか
 ある 131名 ない 152名

《問2》興味のある活動は？

- ・試食会(年末・年始試食会含む) 267名
- ・生産者交流会(トマトピューレ作り・朝市・伊賀有機感謝祭・田植え・春の青空大試食会含む) 82名
- ・みそ作り 65名
- ・料理講習会(バナナお菓子・パン・酵素ジュース魚のさばき方・アップルパイ作り・他など含む) 21名
- ・講演会・学習会(遺伝子組み換え・食の裏側・石けん・エネルギー・原発・放射能・ウイナーづくり・アロマ作り・添加物などを含む) 14名
- ・その他(靴の販売・片付け・保存グッズの紹介・興味はあるなどを含む) 4名

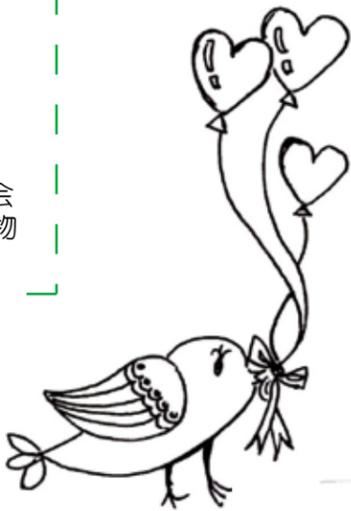
《問3》活動に参加されなかった理由は？

- ・企画を知らなかった 19名
 - ・日時があわなかった 98名
 - ・交通の便が悪い 24名
 - ・開催場所が遠い 36名
 - ・興味がない 9名
 - ・その他 18名
- その他の理由 * 仕事 * 子どもが小さい * 加入歴が浅い
 * 家が空けられない * 身体的理由 * 自分で作るから

《問4》今後どんな活動に参加したいですか？

- ・子育て 45名
 - ・食べもの 193名
 - ・介護など福祉 28名
 - ・産地訪問 51名
 - ・その他 20名
- その他の内訳 * 石けん活用 * 料理講習会 * IT勉強会
 * フラワーアレンジメント * 化粧品、スキンケア * 添加物
 * コーヒー試飲 * エコ掃除 * 環境に関すること

今後の活動予定



| 日時 | 内容 | 主催 |
|-----------|---------------------------------------|-----------|
| 11/24 (金) | 鶏肉を使った料理講習会(エスニック風) | 消費委員会 |
| 11/26 (日) | パラマウント「靴の相談・販売会」 (大和郡山城ホールにて) | 事務局 |
| 12/2 (土) | 伊賀有機感謝祭 (三重県伊賀市白檜 生産者圃場) | 理事会 |
| 12/7 (木) | バナナカフェ バナナを使って 「シュトーレン」と「カステラ作り」 | バナナカフェ委員会 |
| 2018年2月 | 「食品表示法」講演会 (詳細は未定) 講師：たねと食と人@フォーラム | 理事会 |

詳細はチラシにて！ ふるってご参加ください！

おやつバザール mini cafe 開催！

9/28 (とみの里ふれあい会館)
 9/29 (西部公民館)
 10/3 (中部公民館) 計16名参加

お菓子は15種類と手作り「りんごとおいもの紅茶ケーキ」
 コーヒーと和紅茶



地域での繋がりの重要性を改めて実感しました。これからも組合員活動が広がっていくための提案や支援を行ってまいります。
 (エリア活動委員会・奈良エリア担当)

参加者からの感想

「近所の方とお会いできてうれしかった」
 「こんな素敵な仲間と活動したいと思った」

生産者と交流会 美勢商事(株)

9月5日 生駒北コミュニティセンターはばたきにて

餃子の生産者の美勢商事(株)との交流会を開催しました。奈良でも利用が多く人気がある消費材の餃子について、大変興味深いお話を聞くことができました。参加者は23名。うち、組合員でない方の参加は9名でした。

足し算で作られる消費材のぎょうざ

一般的な餃子と消費材の餃子は何が違うのでしょうか? 「引き算」「足し算」という言葉でわかりやすく説明があり、参加者全員が理解が一気に深まりました。一般的な餃子は、まず価格が決められ、そこから様々な経費が引かれた『残り』が原材料費となるため、価格の高い肉は使う事ができず、代わりに安価な粒状大豆たんぱく(大豆かす)を使い、味付け・風味付け

のためにさまざまな添加物を加えて製品化。

一方、消費材の餃子は組合員の声をもとに作られ、原料を追求し、経費を積み重ねて作られています。健康に育てられた豚・大切に育てられた国産野菜・職人技の国産小麦の皮・調味料も消費材を使用、というように、それぞれが旨みたっぷりの原料や調味料を使用しています。

「知るこゝろ」「選ぶこゝろ」

私たちのからだは、食べもの・飲んだもので作られません。今回、冷凍

餃子の真実を知るとともに、生活クラブの消費材が、一般品と単に「価格が違う」だけではない事も学びました。参加者の意識も新たに変わったようでした。

なお、今回の交流会は、未組合員や加入1年以内の新規組合員を主な対象とし、未組合員には生活クラブを知ってもらう事を、又、新規組合員には今後更に生活クラブの消費材に愛着を持ってもらう事を目的としました。次回開催は来年春を予定しています。
(理事 堀口雅子)

バナナの室見学 タナカバナナ

7月2日からの予定であったフィリピンネグロス島訪問が中止、室見学にて。

テロか戦闘準備がフィリピン内に不穏な動きがあるとの事で、訪問がなんと直前に中止。あらゆる準備の最終段階で知らせを受け、もう全身のチカラが抜け、しばらく落ち込みましたが、気を取直して室見学へ!

きれいな、独特の緑色のバナナが港から運ばれて来て、大切に、長年培われた技術で熟成される。この室では色んなブランドのバナナを扱っておられますが、我らの愛しのパランゴンちゃんには、特別な愛着を頂



いているような、そんな気がしました。
(中南部エリア 山口幸子)

市民活動として甲状腺検査を

9月9日 生活クラブ連合会にて報告会参加

報告「2016年度活動概要について」 連合会企画部 渡辺繁美氏
講演「放射線の健康影響：小児甲状腺がんと低線量被ばくについて」 旭川北医院 松崎道幸氏
報告「3・11甲状腺がん子ども基金」設立について 医学博士 崎山比早子氏
報告「桑野協立病院(郡山市)での甲状腺検査から見えること」 生活クラブふくしま副理事長 緑川順子氏
質疑応答とディスカッション

松崎先生の講演では、検査活動を市民活動として継続的に取り組むことの大切さと、内部被ばくが続いている福島の子どもたちへ保養を行うことの重要性について、改めて確認しました。
崎山先生からは「3・11甲状腺がん子ども基金」により、25歳以下で甲状腺がんと診断された人に一律10万円を支給し、さらにアイソトープ治療が必要な人には10万円追加されることについて知りました。
緑川さんからは、福島県が行う集団検査の県民調査ではなく丁寧な検査してもらえることが報告されました。不安な母の気持ちに寄り添って一人一人の検査に

来年は札幌で
正直に言つと、もっと合成洗剤や香料に関する最新の情報が得られればという期待があったので、物足りなさはあるの
立ち会い、話しを聞いて行動されている緑川さんの報告は、会場に集まった全ての人の心を動かすものでした。
奈良でもリフレッシュツアー
奈良では、2012年から始まった検査活動に、ほぼ毎年参加しています。
また、来年度に向けて、いよいよリフレッシュツアーを企画し、福島の組合員が奈良で保養出来るように組み立てていきます。交流会も予定しますので、組合員同士おなじ母として話しをしませんか? 積極的な参加をお願いします。
(理事 岡田真澄)

長野発 水物豊かな森が水を育てる

「シャボン玉フォーラム in 長野」 6月17日・18日 塩尻市 (詳しくは sekkennet.org 参照)

この度、組合員の支援をいただき、参加させていただきました。
塩尻には大分水嶺が2か所もあり、森に降った雨はやがて太平洋・日本海へ注ぐ水のスタート地点です。森と水の関係を学ぶことで、豊かな自然を守るために石けんを利用する人を増やし、石けん運動の輪を広げていくのが趣旨でした。このあと塩尻市長のあいさつがあったのですが、お二方の話を聞いて、「大分水嶺」は「大いぶんすいれい」と読むこととその意味、「大」がつく分水嶺は日本海・太平洋の両方へつながっているということ、そして、石けんなどの「森? 水? という疑問がすつぷりました。」



右は太平洋へ 左は日本海へ

といつか、整備された水路(?)に水がちよろちよろ流れていただけでした。よく考えれば当然ですが、川の始まりとはこんなものというか、何年もの間、山に蓄えられ濾過されきれいになった水が山を下り海へ流れ出る。その始まりを実感できる場所でした。

組合員ひろば

「NPO法人市民の輪いこま」より

生駒市の組合員さんへ ネットアンケートのお願い
生駒市が「ゴミ半減」を目指して「家庭系ゴミの有料化」をスタートさせて約2年が経過しました。私たちは、この機会に、市民の皆様方の「ゴミ問題」に対する意識と行動をアンケートさせていただくことといたしました。
早速ご自宅のパソコンあるいはお手元のスマホで検索して、アンケートにご協力ください。ご返信いただきましたアンケートは、集計して統計数値としてまとめさせていただきます。

『NPO法人市民の輪いこま』は2006年9月設立、2012年6月NPO法人化して、なにもかも行政に任せる、あるいは頼るのではなく、市民目線でのまちづくりを目指して、微力ながら活動を展開してきました。その目線は、環境・医療・福祉・教育・子育て等々生活全体に幅広く向けています。

理事長：高比良啓子(生活クラブ組合員)
ホームページ：
<http://www.geocities.jp/shiminnowa/>
(「市民の輪いこま」で検索)
E-mail: nposhiminnowaikoma@freeml.com



市民の輪いこまのHPが開きます

ですが、全国各地、それぞれの状況に応じて柔軟に力強く活動していることがわかり、興味深かったです。
来年は5月に札幌開催です。是非参加したい!!
ここで立候補しておきます。
(中南部エリア 堀田恭子)